

# 第7回 MGR

トピック: AF、HR vs Rhythm control

発表者: 落合田鶴枝 (研修医)

コメンテーター: 梅谷健 (循環器内科)

文献:

Rhythm Control versus Rate Control for Atrial Fibrillation and Heart Failure

Denis R. et al.

N Engl J Med 2008; 358:2667-2677

2010年7月26日

# 心房細動

## 病態

- 1) 心房の中で血がよどんで、**血栓塞栓症（脑梗塞）**を起しやすくなる。
- 2) **脈拍数の調節**が不十分で、脈が速くなったり遅くなったりする（不規則な脈と頻脈）。
- 3) 心房の：収縮が失われたために**心不全**を起しやすくなる。

## 疫学

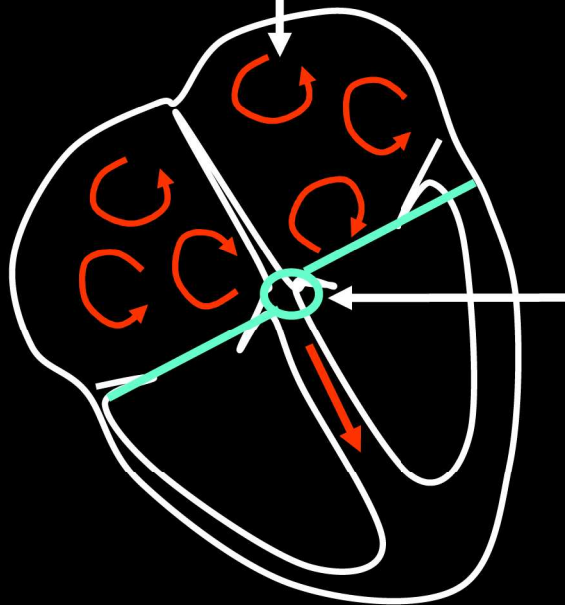
心房細動は独立した死亡のリスクファクターである。心房細動を抑制すれば転機に良い影響を与える可能性がある。

心房細動治療のベネフィットとリスクに関する研究は十分に行われてこなかった

# 心房細動：リズムコントロール vs レートコントロール

リズムコントロール：洞調律を維持する

抗不整脈薬  
カテーテルアブレーション



レートコントロール：心拍数を調節する  
房室伝導を抑制する

beta-blocker  
Ca-blocker：ワソラン、ヘルベッ  
サー  
ジゴシン

リズムコントロール



レートコントロール



## 心房細動の治療これまでの大規模試験

1) 抗凝固治療: 必須の治療: 慢性/発作性心房細動いずれでも

2) リズムコントロール

Vs

レート(心拍数)コントロール

AFFIRM : 心房細動患者においてrhythm controlとrate controlでは、死亡率で有意差なし  
n; 4060

NEJM 2002; 347: 1825-1833

RACE: n; 522

NEJM 2002; 347: 1834-1840

PIAF: n; 252

Lancet 2000; 356: 1789-1794

STAF: n ; 200

J Am Coll Cardiol 2003; 41: 1690-1696

いずれにおいえも、リズムコントロールの有用性が示されなかった。(intension-to-treatment)  
On-treatment analysis: 洞調律が維持されれば生命予後はいい。

リズムコントロール(除細動+抗不整脈薬)治療 → レートコントロール+抗凝固治療  
リズムコントロール+(抗凝固治療)

**今回の研究の仮説:**

**心房細動を合併した心不全患者の治療をどうするか？**

**頻脈、心房収縮の消失→心不全の悪化するのでは？**

**抗不整脈薬は心不全患者では使用が難しい**

**血行動態的には、リズムコントロール(洞調律)がいいのでは？**



**heart rate control vs rhythm control in patients with heart failure**